

氏 名 小 柳 和 喜 雄



所 属 ・ 職 名 附属教育実践総合センター・助教授

研究室電話番号 0742-27-9295
(ダイヤルイン・FAX 兼用)

電子メールアドレス oyanagi@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期(1992)
教育学修士

所 属 学 会 等 日本教育学会, 日本教育方法学会, 日本教育工学会

専 門 分 野 教育方法, 教育工学

研究と教育について

研究関心

- (1) 教師の資質能力と ICT リテラシーの関係についての研究
- (2) ドイツにおけるメディア教育学に関する研究
- (3) 情報教育カリキュラムおよび情報教育のための教師教育に関する研究
- (4) 教育実践研究の方法論(アクションリサーチ)および学校評価, 授業評価に関する研究

大学の授業での教育方針としては, どの担当科目においても基本的には次のステップで進めている。

- 1) 背景の説明, 2) モデルの提示, 3) 具体的な経験, 4) 受講者によるモデルの作成,
- 5) 振り返り・評価方法の獲得, 7) 実践力のさらなる獲得へ向けての情報の所在の理解

主 な 研 究 業 績

- ・「英国のメディア教育の枠組みに関する教育学的検討」.(2003.6) 日本教育方法学会『教育方法学研究』第28巻, pp.199-210.
- ・Difficulties and Problems in Building Schools based on Community Needs: A Case Study of Educational Reforms at Nara Prefecture in Japan (2003.12) Queensland Journal of Educational Research, Vol. 19. No2. pp.67-82.
- ・A Development of e-Materials for Understanding the Kid's Culture in Pre-service Teacher Education. (2004.11) Proceedings of E-Learn 2004 International Conference. Washington. DC. A. pp.161-166..
- ・「ドイツにおけるメディア・リテラシー教育の枠組みに関する予備的研究 - メディア・コンピテンツ概念の分析を中心に - 」(2005.6) 日本教育メディア学会『教育メディア研究』. Vol.11(2).
- ・A Study on Modeling of e-Facilitating Behavior in Moderation Method - A Case of Practicum in Pre-service Teacher Training -. (2005.9.) JSET. Educational Technology Research. Vol.28(1,2). pp. 1-10..

主な授業担当科目

教育方法・メディア(教職科目), 教育方法学演習(教職科目), 教育実習事前・事後指導(教職科目), 子どもとメディア(教養科目), 中等教科教育法(情報), 情報教育特論・演習(大学院科目)

学 会 活 動

社 会 的 活 動

奈良県学力向上フロンティア事業推進委員
奈良県教育特区 県立高等学校教育課程弾力化推進校サポート委員
奈良市教育特区 小中一貫校推進委員
大和郡山市研究開発学校運営指導委員(文部科学省委託)
ネットワーク配信コンテンツ活用推進事業 評価推進委員(文部科学省委託)

講 演 の テ ー マ